



2018年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年2月1日

上場会社名 BEENOS株式会社

上場取引所 東

コード番号 3328 URL <http://www.beenos.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼グループCEO (氏名) 直井 聖太

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 松田 久典

TEL 03-5739-3350

四半期報告書提出予定日 2018年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2018年9月期第1四半期の連結業績(2017年10月1日～2017年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年9月期第1四半期	5,365	8.0	94	7.3	137	78.7	37	
2017年9月期第1四半期	4,970	6.8	88	52.5	76	59.6	89	

(注) 包括利益 2018年9月期第1四半期 70百万円 (70.2%) 2017年9月期第1四半期 235百万円 (124.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2018年9月期第1四半期	3.05	
2017年9月期第1四半期	7.31	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2018年9月期第1四半期	14,705	9,012	51.7	622.99
2017年9月期	14,749	9,240	53.2	638.13

(参考) 自己資本 2018年9月期第1四半期 7,602百万円 2017年9月期 7,845百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2017年9月期		5.00		13.00	18.00
2018年9月期					
2018年9月期(予想)		0.00		13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 1. 2017年9月期の配当原資には、資本剰余金が含まれております。詳細は、後述の「資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳」をご覧ください。

2. 2017年9月期第2四半期末配当金の内訳 記念配当 5円00銭

3. 2018年9月期の連結業績予想(2017年10月1日～2018年9月30日)

2018年9月期の連結業績予想につきましては開示を見合わせており記載しておりません。詳しくは、P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2018年9月期1Q	12,332,600 株	2017年9月期	12,332,600 株
期末自己株式数	2018年9月期1Q	129,558 株	2017年9月期	37,718 株
期中平均株式数(四半期累計)	2018年9月期1Q	12,239,627 株	2017年9月期1Q	12,209,151 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳

2017年9月期第2四半期の配当のうち、資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳は以下のとおりです。

基準日	第2四半期末	合計
1株当たり配当金	5円 00銭	5円 00銭
配当金総額	61百万円	61百万円

(注) 純資産減少割合 0.009

2017年9月期の配当のうち、資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳は以下のとおりです。

基準日	期末	合計
1株当たり配当金	13円 00銭	13円 00銭
配当金総額	159百万円	159百万円

(注) 純資産減少割合 0.023

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、ITとインターネットをベースに新しい市場を切り拓き、新しい産業を創造する「グローバルプラットフォーム」を目指しております。そのような中、今期は既存事業の拡大に加え、「パーティカル構想」・「物販アービトラージ（データベースとAI技術の活用）」・「越境BtoB」の3つをテーマとした新規事業創造を積極的に推進する方針を掲げております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,365,542千円（前年同期比8.0%増）、営業利益は94,570千円（前年同期比7.3%増）、経常利益は137,181千円（前年同期比78.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は37,390千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失89,194千円）となりました。

なお、当社が経営指標として重視している流通総額につきましても、当第1四半期連結累計期間では118億円（今期の計画は430億円）と順調に推移しております。

事業のセグメント別の業績は、次のとおりであります。

①Eコマース事業

クロスボーダー部門の「海外転送・代理購入事業（FROM JAPAN）」におきましては、国内ECストアや海外Webメディアとの連携による流通総額の増加や、ユーザーからの問い合わせに対するChat対応、スマートフォン最適化によるユーザー満足度の向上を図り、売上高、営業利益が好調に推移しました。

「グローバルショッピング事業（TO JAPAN）」におきましては、国際送料の事前確定モジュールのリリースやSEO対策の強化により新規会員の獲得を図り、売上高は堅調に推移しました。また、米国倉庫のさらなる内製化推進のため、一時的に人員増による体制強化を図りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,118,980千円（前年同期比11.2%増）、営業利益は174,459千円（前年同期比9.9%増）となりました。

バリューサイクル部門では、買取面では、自社販売サイト「ブランディアオークション」と連動した「下取りサービス」を開始したほか、「ブランディアポイント」による買取も開始し、既存ユーザー、特に優良顧客へのアプローチの活性化を図りました。また、アパレル大手㈱TSIホールディングスと業務提携し、同社が運営するファッションECサイト「MIX.Tokyo」での買取キャンペーンを開始いたしました。これら買取サイトの訪問者数の増加及び買取単価の上昇により、当第1四半期累計期間における買取申し込み件数は125,930件（前年同期比1.0%増）、買取金額は1,586,570千円（前年同期比14.0%増）となりました。

販売面でも、自社販売サイト「ブランディアオークション」での「下取りサービス」や「ブランディアポイント」、1 to 1 マーケティングの強化により、当第1四半期累計期間における売上総利益率が52.7%（前年同期比2.9%増）に向上し、自社販売サイトの売上構成比が24.7%（前年同期比5.9ポイント増）に向上いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,739,308千円（前期同期比2.8%増）、営業利益は22,750千円（前年同期比75.5%増）となりました。

リテールライセンス部門の「商品プロデュース・ライセンス事業」におきましては、エンターテインメント事業のEC販売において、イベントに来場できないファンや先行的に手に入れたファンへのニーズに応えるべく、商品の品揃えや販売施策の強化を行いました。ライセンス事業においては、ハンドメイドキャンドルを中心としたインテリア雑貨ブランドSWATi（スワティー）の期間限定ショップを渋谷ヒカリエなど3店舗同時展開することにより、認知度向上やブランディング強化を図ることで、売上高が好調に推移しました。

なお、同部門に含まれていた株式会社ネットプライスは、2017年11月1日に発表した連結子会社の異動（株式譲渡）に関するお知らせのとおり、同年12月1日より連結の範囲から除外しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,483,106千円（前年同期比14.4%増）、営業利益は48,478千円（前年同期比2.4%増）となりました。

Eコマース事業全体では、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,341,395千円（前年同期比7.5%増）、営業利益は245,688千円（前年同期比12.1%増）となりました。

②インキュベーション事業

「投資育成事業」におきましては、新興国ではオンラインマーケットプレイス企業やオンライン決済企業を中心とした投資を、日本国内ではインバウンド消費関連市場のスタートアップ企業を中心とした投資を積極的に進めております。そのような中、当第一四半期連結累計期間においては、宿泊施設の企画・運営を行うスターリゾート(株)に出資をいたしました。

また、既存の投資先については、事業成長にあわせて適切と考えるタイミングで投資回収も進め、毎四半期末に一定の基準に基づいた評価（引当また減損）も行っております。

「新規事業」におきましては、これまでに蓄積したグローバルに展開するビジネスのノウハウを活用し、さらに既存事業の成長加速化に繋がる新規事業を創造することを目的として、BeeCruise株式会社を設立し、積極的に事業創造を推進しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は24,701千円（前年同期比932.9%増）、営業損失は45,759千円（前年同期は営業損失37,613千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

(i) 資産

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べ44,482千円減少し、14,705,232千円となりました。

内訳といたしましては、流動資産合計が13,027,177千円となり、前連結会計年度末と比べ13,235千円の増加となりました。その主な要因は、増加要因としては、商品237,103千円、営業投資有価証券216,938千円の増加であり、減少要因としては、現金及び預金602,009千円の減少であります。

また、固定資産合計は、1,678,054千円となり、前連結会計年度末と比べ57,717千円の減少となりました。その主な要因は、繰延税金資産58,697千円の減少であります。

(ii) 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は5,692,410千円となり、前連結会計年度末と比べ182,799千円の増加となりました。

内訳といたしましては、流動負債合計が5,494,537千円となり、前連結会計年度末と比べ239,153千円の増加となりました。その主な要因は、増加要因としては、未払金1,002,688千円の増加であり、減少要因としては、未払法人税等178,791千円、短期借入金174,300千円、支払手形及び買掛金147,301千円の減少であります。

また、固定負債合計は、197,873千円となり、前連結会計年度末と比べ56,353千円の減少となりました。その主な要因は、長期借入金56,902千円の減少であります。

(iii) 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は9,012,821千円となり、前連結会計年度末と比べ227,282千円の減少となりました。その主な要因は、増加要因としては、為替換算調整勘定18,893千円、利益剰余金37,390千円の増加であり、減少要因としては、資本剰余金173,306千円の減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年9月期の通期の連結業績予想につきましては、インキュベーション事業において、売上（売却益）の発生時期及び金額を見積もり発表することが合理的ではないと判断していること、また新規事業への積極的な取り組みを重要戦略として計画しておりますが、その投資の時期や金額の規模については、機動的に判断していく予定であることから、業績予想の開示を見合わせております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,542,131	5,940,121
受取手形及び売掛金	841,345	820,559
営業投資有価証券	2,568,278	2,785,216
商品	1,109,251	1,346,355
未収入金	1,178,062	1,232,407
繰延税金資産	143,967	114,601
その他	648,000	802,677
貸倒引当金	△17,094	△14,761
流動資産合計	13,013,942	13,027,177
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	404,897	429,791
減価償却累計額	△184,664	△174,227
建物及び構築物（純額）	220,232	255,563
工具、器具及び備品	134,432	130,130
減価償却累計額	△100,754	△94,092
工具、器具及び備品（純額）	33,677	36,037
有形固定資産合計	253,910	291,601
無形固定資産		
のれん	92,971	84,780
その他	161,066	139,281
無形固定資産合計	254,037	224,062
投資その他の資産		
投資有価証券	667,083	709,834
繰延税金資産	80,915	22,218
その他	479,824	430,337
投資その他の資産合計	1,227,824	1,162,390
固定資産合計	1,735,772	1,678,054
資産合計	14,749,714	14,705,232

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	440,379	293,078
短期借入金	1,118,645	944,345
1年内返済予定の長期借入金	29,040	8,880
未払金	1,654,134	2,656,823
預り金	825,046	860,457
未払法人税等	313,325	134,534
繰延税金負債	2,266	1,820
その他	872,545	594,599
流動負債合計	5,255,384	5,494,537
固定負債		
長期借入金	82,942	26,040
資産除去債務	163,423	165,591
繰延税金負債	877	6,241
その他	6,983	—
固定負債合計	254,227	197,873
負債合計	5,509,611	5,692,410
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,775,840	2,775,840
資本剰余金	2,892,687	2,719,381
利益剰余金	1,966,473	2,003,863
自己株式	△53,767	△187,091
株主資本合計	7,581,233	7,311,993
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,689	41,748
為替換算調整勘定	229,793	248,686
その他の包括利益累計額合計	264,482	290,434
新株予約権	5,256	3,401
非支配株主持分	1,389,130	1,406,991
純資産合計	9,240,103	9,012,821
負債純資産合計	14,749,714	14,705,232

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2016年10月1日 至2016年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2017年12月31日)
売上高	4,970,334	5,365,542
売上原価	2,424,975	2,510,226
売上総利益	2,545,359	2,855,315
販売費及び一般管理費	2,457,213	2,760,744
営業利益	88,145	94,570
営業外収益		
受取利息	50	9
持分法による投資利益	—	22,743
償却債権取立益	1,149	—
投資事業組合運用益	5,769	36,933
その他	2,131	4,644
営業外収益合計	9,101	64,331
営業外費用		
支払利息	2,727	3,182
為替差損	16,857	18,487
持分法による投資損失	444	—
その他	454	51
営業外費用合計	20,484	21,721
経常利益	76,762	137,181
特別利益		
関係会社株式売却益	—	24,187
税金等調整前四半期純利益	76,762	161,368
法人税、住民税及び事業税	10,784	23,113
法人税等調整額	151,413	93,977
法人税等合計	162,197	117,090
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△85,435	44,277
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,758	6,887
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△89,194	37,390

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2016年10月1日 至2016年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2017年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△85,435	44,277
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	70,569	7,080
為替換算調整勘定	237,001	18,726
持分法適用会社に対する持分相当額	13,634	144
その他の包括利益合計	321,205	25,952
四半期包括利益	235,770	70,229
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	232,011	63,342
非支配株主に係る四半期包括利益	3,758	6,887

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2016年10月1日 至 2016年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Eコマース事業				インキュ ベーション 事業	合計		
	クロス ボーダー 部門	バリュー サイクル 部門	リテール・ ライセンス 部門	小計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,006,613	2,664,498	1,296,831	4,967,943	2,391	4,970,334	—	4,970,334
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,006,613	2,664,498	1,296,831	4,967,943	2,391	4,970,334	—	4,970,334
セグメント利益 又は損失(△)	158,809	12,967	47,347	219,124	△37,613	181,510	△93,365	88,145

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△93,365千円には、セグメント間取引の消去△53,646千円、各報告セグメントに配分していない全社収益121,419千円及び全社費用△161,138千円が含まれております。全社収益は、主にグループ会社からの受取手数料であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Eコマース事業				インキュ ベーション 事業	合計		
	クロス ボーダー 部門	バリュー サイクル 部門	リテール・ ライセンス 部門	小計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,118,810	2,739,308	1,482,598	5,340,717	24,701	5,365,418	123	5,365,542
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	169	—	508	678	—	678	△678	—
計	1,118,980	2,739,308	1,483,106	5,341,395	24,701	5,366,096	△554	5,365,542
セグメント利益 又は損失(△)	174,459	22,750	48,478	245,688	△45,759	199,929	△105,358	94,570

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△105,358千円には、セグメント間取引の消去△176,901千円、各報告セグメントに配分していない全社収益241,159千円及び全社費用△169,616千円が含まれております。全社収益は、主にグループ会社からの受取手数料であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。